

- 第一三共胃腸薬プラス細粒
- 第一三共胃腸薬プラス錠剤
- 新フジサワ胃腸薬クール

### 【使用上の注意】

#### 使用上の注意

#### してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないで下さい。  
透析療法を受けている人

2. 長期連用しないで下さい。



#### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

(1) 医師の治療を受けている人

(2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人

(3) 次の診断を受けた人

腎臓病、甲状腺機能障害\*

※第一三共胃腸薬プラス細粒

※第一三共胃腸薬プラス錠剤

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ

### 【解 説】

1. 本剤にはアルミニウム塩を含む成分(合成ヒドロタルサイト、ケイ酸アルミン酸マグネシウム、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム)が配合されています。アルミニウムは透析で体外に排泄されにくいいため、長期連用することにより、体内に蓄積されるおそれがあります。

透析患者で長期・大量摂取によるアルミニウム脳症・アルミニウム骨症等の報告がありますので、透析療法を受けている人は服用を避ける必要があります。

2. 共通事項解説〔3〕参照  
長期連用することにより、アルミニウムが体内に蓄積されるおそれがあります。

1.

(1) 共通事項解説〔4〕参照

(2) 共通事項解説〔7〕参照

(3) 記載されている疾患の診断を受けた人は、本剤に配合されている成分により、病状が悪化するおそれがありますので、服用前に相談が必要です。

#### ● 腎臓病

腎障害のある人は排泄機能の衰えにより、制酸剤に含まれるマグネシウム、カルシウム、ナトリウム、アルミニウムなどの塩類の排泄が遅れるため、過量あるいは長期にわたり摂取した場合、これらのイオンが体内に貯留して副作用を起こすおそれがあります。

#### ● 甲状腺機能障害

沈降炭酸カルシウムにより血中カルシウム濃度が上昇し、甲状腺機能障害を悪化させるおそれがあります。

2. 例示したような副作用症状が起こる可能性があります。これらの症状があらわれた場合には、症状の増悪や重篤な副作用への移行を未然に防ぐため、直ちに服用を中止し、服用している薬剤の成分等がわかる添付文書を持参の上、専門家に相談する必要があります。

- **第一三共胃腸薬プラス細粒**
- **第一三共胃腸薬プラス錠剤**
- **新フジサワ胃腸薬クール**

### 【使用上の注意】

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。  
便秘、下痢
4. 2週間位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

### 【用法・用量に関連する注意】

1. 用法・用量を厳守して下さい。
2. 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。

### 【保管及び取扱い上の注意】

1. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
2. 小児の手の届かない所に保管して下さい。
3. 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わります)
4. 1包を分割した残りを服用する場合は、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用して下さい。  
▶ **第一三共胃腸薬プラス細粒**  
▶ **新フジサワ胃腸薬クール**
5. ぬれた手で取り扱わないで下さい。水分が錠剤につくと、表面が一部溶けて変色又は色むらを生じることがあります。また、ぬれた錠剤をビンに戻すと他の錠剤にも影響を与えますので、戻さないで下さい。  
▶ **第一三共胃腸薬プラス錠剤**
6. ビンの中の詰め物は輸送中の錠剤破損防止用ですので、開封後は捨てて下さい。  
▶ **第一三共胃腸薬プラス錠剤**
7. 表示の使用期間を過ぎた製品は使用しないで下さい。

### 【解 説】

3. 一過性の軽い副作用としてあらわれることがあります。直ちに服用を中止する必要はありませんが、症状が持続したり増強する場合は、服用を中止して専門家に相談する必要があります。
  - **便秘**  
制酸剤に含まれるカルシウム塩やアルミニウム塩により便秘傾向となる場合があります。
  - **下痢**  
制酸剤に含まれるマグネシウム塩により、下痢傾向となる場合があります。
4. 適応症として記載されている症状では、早ければ1～2日、遅くとも1～2週間位の服用により改善するものですが、それ以上症状が長引く場合は、他の疾患や合併症も考えられるので、服用を中止し、専門家に相談する必要があります。

1. 共通事項解説〔8〕参照
2. 共通事項解説〔9〕参照
1. 共通事項解説〔11〕参照
2. 共通事項解説〔12〕参照
3. 共通事項解説〔13〕参照
4. 本剤を開封状態で放置しておくこと、吸湿して品質に影響を及ぼすので、1包を分割して服用した場合は、吸湿しないように袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用して下さい。
5. 共通事項解説〔14〕参照
6. 共通事項解説〔15〕参照
7. 共通事項解説〔17〕参照